

行事名称	第96回技術者倫理研究会例会
開催日時	2021年11月9日（火曜日）18:30～20:30
開催場所	（TeamsによるWEB講演）
主催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 <a href="http://engineeringethics-studygroup">engineeringethics-studygroup</a>
参加者	全国で94名参加（うち北陸本部参加者8名）
演題	技術者倫理の教育設計～インストラクショナルデザインとケースメソッド
講師	保田 耕三氏 技術士（経営工学、総合技術監理）
講演資料	あり
内容	<p>日本技術士会経営管理チーム所属、千葉県支部幹事、企画委員、技術者教育支援委員の方で、1993年三井石油化学(現三井化学)入社後、国内化学工場の生産技術支援、海外での化学プラント建設プロジェクト、本社での技術戦略管理などを経験。現在は海外関係会社の工場に対する技術支援・指導を主業務とする傍ら、中小企業支援や補助金審査、記事執筆、大学非常勤講師、英文添削等、幅広い活動をされている。そのご経験をもとに詳しくご講演いただいた。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介</li> <li>2. インストラクショナル・デザイン(ID)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育設計の手順として～ADDIEモデルについて、他</li> </ul> </li> <li>3. ご自身の某国立大学工学部(化学)での技術者倫理教育に関する講義資料からIDの応用について詳しく解説 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースメソッドについて</li> </ul> </li> </ol>
所感	<p>特に最後に学生に対する、ケースメソッドの進め方として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題状況の理解・分析</li> <li>・自説の構築</li> <li>・意見交換と言語化</li> <li>・意見の更新・修正</li> <li>・授業での成長</li> </ul> <p>といった内容を保田氏が、講師としてどのように指導していらっしゃるか「チャレンジャー事故」の事例紹介と合わせてお話いただき、非常に参考になりました。</p>
記入者：2021. 11. 16 倫理委員会 阿部治彦	